

# SUNDAY NIKKEI



不整脈があるかどうか心電図検査で調べてもらっても、発生頻度が少ないと「異常なし」と病院で見落とされてしまつともある。そこで活躍するのが最近普及し始めた携帯型心電計。脈が速くなったり乱れたりしたときに上手に使うと、「ドキドキ」とした瞬間のデータがとれる。命にかかわる深刻な不整脈かどうか「正体をあはく」のにも役立つという。

## 「ドキドキ」の瞬間

首都圏に住む二十代の女性Aさんは、半年前から、激しい運動をしたわけでもないのに動悸(どうき)を感じるようになった。その頻度がだんだん多くなってきたので、不安を覚えて医療機関を受診した。心電図をとってもらったが、異常はみつからなかった。そこで主治医に勧められたのが携帯型心電計。家に持ち帰り、「脈がおかしい」と思ったときに、スイッチを入れ測定した。うまく不整脈の瞬間をとらえることができた。主治医に心電図の波形を見てもらったところ、ストレスなどが原因で起きるタイプの不整脈という診断が出た。特に治療の必要はないと分かると、不安が解消された。

# 携帯型心電計 不整脈キャッチ

健康診断などで心電図をとるときには、ベッドに横たわり、胸や腹に電極を張り付けて測定する。「十二誘導心電図」と呼ばれ広く普及している方法で精度が高い。ただし、測定時間はわずか十二秒。自覚症状があっても異常が見つからないことも多い。不整脈は心臓を拍動させる

と一日に二、三回は不整脈が発生すると言われるほどだ。しかし、自覚症状がある人にとって不整脈は心配なもの。心筋梗塞(こうそく)など突然死につながる重い病気が潜んでいることもあるから、もちろん監視はできない。医師に訴えても検査で異常が見つからないと、「ストレスのせいでしょう」と軽くあしらわれ、釈然としない人も少なくないだろう。携帯型心電計を診療に取り入れるおやま内科(横浜市)の栗谷透医師は「携帯型でとったデータ

## 毎日の健康管理にも

携帯型心電計を上手に使うと発病の予防にも



不整脈の主な原因  
(病気に関係ある)  
心臓疾患、肺疾患、高血圧  
(病気に関係ない)  
老化、睡眠不足、疲労、ストレス



携帯型心電計は胸にあてるだけでOK

Aさんのように循環器専門医を受診すると、一定期間借りることもできる。民間企業が提供する健康サービスもある。測定したデータを電話回線でサービスセンターに電送すると、心電図がファクスで送り返されてくるのでそれを主治医に診てもらおう。電話で医師から診断を受けるという仕組みだ。心電計を内蔵したコンピューターがデータ解析し「脈に乱れがあるようです」と表示してくれるタイプも登場した。異常が見つかったら、そのまま主治医に

持っていけばいい。また、家庭用血圧計のよう毎日、決まった時間に測定すると「深刻な病気の前兆をキャッチできる可能性もある」と栗谷医師は言う。その一つが脳の血管に血の塊(血栓)がたまる脳梗塞。脳の病気が不整脈は一見、無関係のようにも思えるが、塊が心臓の中で電気が空回りする「心房細動」という状態になると、心臓の中で血の塊ができやすくなる。これが流れていき、細い脳血管を詰まらせる。心房細動が起きると脈が速くなる。毎日測定していれば、異常をすばやく察知でき、血栓ができにくくなる素などで予防できる可能性があるという。

(奥野由美子)